

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 河内やすらぎの家

## 目標達成計画

作成日: 令和 5年 4月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	ご利用者の居住年数が長くなっている中、身体介護の重度化への対応が必要になっています。職員の腰痛予防の観点からノーリフティングの介護(移動・移乗)および拘縮予防に取り組んでいきたい。	1)ご利用者毎の移動・移乗の介助方法にノーリフティングを取り入れ実践し、職員の腰痛予防に繋げる事ができる。 2)職員全員が利用者毎の良肢位の保持が理解でき実践できる。	1)①ご利用者毎のノーリフティングを取り入れた移動・移乗介助方法の手順書を作成し直す ②①の手順書を元実践し職員全員ができて いるか、腰痛予防に繋がっているか評価する 2)重度の利用者毎の良肢位の保持の方法について看護職員と確認し実践する	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。